組織現勢（10月1日現在）
組合員数 18,976人
出資口数 160,760口
8・9月の新規加入 16人
8・9月の増資口数 553口
No. 463

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
本部事務局　大田区大森東4-6-15-101
TEL（3762）0266
振込銀行　さわやか信用金庫大森支店
口座（普）0469459
発行　「城南の保健」編集委員会
年6回発行・定価1部　30円

暮らしに寄り添い、人と人をつなぐ

ケアマネジャーって、どんな仕事？

介護が必要になったとき、「まず、誰に相談したらいいんだろう？」と迷う方も多いのではないでしょうか。

そんなとき、本人や家族の思いを聞き、必要な介護サービスや医療、地域のさまざまな支援につないでいくのが、ケアマネジャー（介護支援専門員）です。

今回は、城南地域で長く利用者さんと向き合ってきた辻さんと栗橋さんに、ケアマネジャーの仕事や大切にしていること、心に残っている利用者さんとのエピソードについてお話を聞きました。



① ケアマネジャーってどんな仕事？

栗橋さん

簡単に言えば、介護のことで困ったときの「相談窓口」だと思います。

介護サービスを使いたいけれど、どうしたらいいのか分からない。

そんなときに、まず相談してもらえる存在ですね。

だからこそ、私は「この人だったら相談できる」「困っていることを話してみよう」と思ってもらえる関係を大切にしています。



特に最初にお会いしたときに、安心して話していただける関係をつくれるかどうか。それがケアマネにとってとても大事だと思っています。

② 大切にしていること



辻さん

私は「先入観を持たない」ということを大切にしています。

「このご家族にはこれは無理だろう」とか、最初からこちらで決めてしまわない。本人や家族だけでなく、近所の方とのつながりなども含めて、その方の生活全体を見るようにしています。

自分でも気づかないうちに先入観や偏見を持ってしまうことはあります。だからこそ、一方向から決めつけないことを意識しています。

③ 「もう難しい」と思われた方が、再び自分の楽しみを

辻さん



50代の男性で、重い脳出血を起こされた方がいました。糖尿病もあり、目も見えにくく、意識不明の状態が続きました。ご家族も、葬儀会社のパンフレットを持ち歩くほど厳しい状況でした。

それでも退院することができ、在宅生活が始まりました。

ヘルパーステーションすずらんをはじめ、いろいろな職種が関わる中で少しずつ状態が良くなっていったんです。

今ではプラモデルを作ることもできるようになりました。

入院と在宅生活を行き来しながら、「次は車いすに乗れるようになろう」「次の入院までにここまでリハビリを頑張ろう」と、本人の希望や目標をみんなで共有して支援していきました。

良くなっていく過程を一緒に伴走できたことは、今でもとても印象に残っています。

④ 多職種との連携が支えになる

栗橋さん

顔が見える関係だからこそ、すぐに相談できることは大きいですね。

利用者さんの生活には、医療だけでなく、介護や住環境などいろいろな問題があります。



それぞれの専門職に相談しやすく、医療の側面、生活の側面、環境の側面から一緒に考えられるのは、私たちの強みだと思います。

⑤ ヘルパーさんは「生活のプロ」



栗橋さん

一言で言えば、「生活のプロ」です。

利用者さんの日常生活を一番身近で見ていて、「今日はちょっと顔色が違う」「いつもより元気がない」といった小さな変化にも気づいてくれます。そして、それをケアマネに伝えてくれる。

その情報があるから、私たちも必要に応じて診療所などに相談することができる。本当にありがたい存在です。





ケアマネジャーの事業所紹介

- **おおもりまち訪問看護ステーション**
  大田区大森東4-3－11　大田歯科ビル3階
- **おおもりまち訪問看護ステーション ゆたか営業所**
  品川区豊町4-18-21　ゆたか診療所内
- **けいひん訪問看護ステーション**
  大田区南六郷1-8-2　ハイツアオキ第22-301
- **けいひん訪問看護ステーション うのき営業所**
  大田区鵜の木3-13-10　うのき診療所2階

私たち4つの事業所は、品川・大田のそれぞれ特色ある地域に根ざし、活動しています。
昔ながらの商店街や人情味のあるまち、緑豊かな住宅地など、地域の雰囲気はさまざまですが、共通して大切にしているのは、ご利用者・ご家族の思いに寄り添うこと。日頃から職員同士はもちろん、地域の医療・介護事業所とも顔の見える関係を大切にしています。困ったときに「ちょっと相談してみよう」と思っていただける、身近な事業所を目指しています。